防コミの歩き方

BOKOMI 防災 神戸 未来 BOSAI KOBE MIRAI

第16回須磨区防災福祉コミュニティ大会（須磨区総合防災訓練）開催

1.須磨区総合防災訓練として位置づけ

須磨区の防災福祉コミュニティ（以下「防コミ」という）では、毎年全21地区が一堂に集まり、災害時の連携や地域防災力の向上を図るため、防コミ大会が開催されています。

今年度は「須磨区総合防災訓練」としても位置づけられ、11月6日に神戸総合運動公園内にある「水のくに」野外ステージ周辺において、防コミ・太田中学校（放送部）・神戸女子大学（V-net+）・消防団・警察署・区役所・消防署など、19の関係機関の協力を得て、総勢約700人で開催しました。

防コミ大会は、太田中学校（放送部）の生徒によるナレーションで始まり、今年度の須磨防コミ代表者である岡本座長（大黒防コミ）の開会宣言により、幕を開けました。

2.展示・体験ブースについて

今年度の防コミ大会は、昨年度に引き続いて展示や体験型のブース（全19ブース）を会場内に展開し、防災について触れていただきました。

開会式の後、防コミの方々は観客席から一斉に会場内の各ブースに移動し、そこに家族や地域の子どもたちも加わって、それぞれが見たい、体験したいブースにいき、防災について考え、身近なものとして感じていただけたと思います。

・主なブース

煙体験、土嚢（どのう）作り、応急手当、AED、ゆれるん、車両展示、がれき救助、放水体験（消防団）、要援護者支援（区役所）、白バイ・似顔絵作成、給水体験と飲みくらべ（水道局）、震災当事のパネル展示（神戸総合運動公園）、火おこし体験（大阪ガス）、災害伝言ダイヤル体験（日本公衆電話会）、避難生活体験（防災士会）、非常食の展示配布（江崎グリコ）等。

3.新たな試み

今回、新たな試みとして、神戸女子大学のご協力のもと、炊飯袋を使用した炊き出し訓練（さば缶ご飯・カレー）と、11月13日の全市総合防災訓練に先立ち、会場近くのグリーンアリーナ神戸前の高台まで、津波避難訓練をおこないました。

防コミ大会は、年に一度、須磨区の全防コミが集まって訓練をおこなう貴重な機会であり、今後も関係機関を含めた災害時の連携や地域防災力の向上を目的に、継続していければと思っています。

（須磨消防署　向井章）